

### 第3回 日本交通心理学会認定「交通カウンセラー」養成講座 基礎講座Ⅰ カリキュラム

(兼 国土交通省認定「第一種カウンセラー」資格要件研修カリキュラム)

基礎講座Ⅰ

平成25年11月2日～12月22日

項目	研修内容	実施時間
1. 事前学習	① 受講生は、事前に「運転適性診断」の受診 ※1 ② テキストを事前に目を通しておくこと ③ 参考図書にも事前に目を通しておくこと	※1 各事業所または適性診断実施機関で受診する。
第1日目：H25.11.2（土） 2. 適性診断一般に関する事項 国交省研修#1に該当	① 適性診断とは ② テストの理解 ③ テストの歴史 ④ テストに必要な要件 ⑤ テストを扱う診断員のあり方 ⑥ テストを通じての人間特性の把握 ⑦ テスト結果の表し方・伝え方と活用効果の発揮 ⑧ 現在、使用されているテストの概要 等	座学：2時間 10：00～12：00
3. 交通心理学に関する事項 国交省研修#2に該当	① 事故発生プロセス ② 事故関連諸要因 ③ 交通行動モデル ④ 理想的な安全運転者 ⑤ 事故多発運転者 ⑥ 安全対策の諸方法 ⑦ 安全対策における適性診断の位置づけと役割 等	座学：4時間 13：00～17：00

適性診断の受診※1： 受講生は、自ら運転適性診断を始まるまでに受診しておいてください。遅くとも第3回目（11/23）が実施するまでには受診願います。運転適性診断は、各事業所で使用しているもの、または、適性診断実施機関が実施しているものを受診願います（例：電脳適性診断、警察庁方式適性診断、NASVA 適性診断等のような運転適性診断でも結構です）。

<p>第2日目：H25.11.3（日）</p> <p>4. カウンセリングの理論に関する事項1</p> <p><b>国交省研修#3に該当</b></p>	<p>○ カウンセリングの基本的技術（基本的なかかわり技法）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傾聴の意義と基本的態度</li> <li>傾聴の意義、傾聴の前提となる考え方、傾聴の基本的態度 等</li> </ul>	<p>座学：2時間</p> <p>9：00～11：00</p>
<p>5. 指導及び助言の手法の関する事項</p> <p><b>国交省研修#4に該当</b></p>	<p>○ 適性診断テストごとの指導及び助言の要点に関するもの</p>	<p>座学：2時間</p> <p>11：00～14：00</p> <p>（昼休憩を含む）</p>
<p>6. カウンセリングの理論に関する事項2</p> <p><b>国交省研修#3に該当</b></p>	<p>○ カウンセリングの基本的技術（基本的なかかわり技法）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンセリングの考え方と技術（傾聴技法）について</li> <li>かかわり行動、場面構成、簡単受容、感情への応答 等</li> </ul>	<p>座学：3時間</p> <p>14：00～17：00</p>
<p>第3日目：H25.11.4（月）</p> <p>7. 基本的なリスニングの実習</p>	<p>○ カウンセリング技術の基礎となる「傾聴」の技術を取得するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な聴き方（リスニング）の訓練を実習する。</li> </ul>	<p>実習：5時間</p> <p>9：00～15：00</p>
<p>8. カウンセリングの理論に関する事項3</p>	<p>○ カウンセリングの展開方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンセリングをどのように組み立てるにかについて</li> <li>事故原因、運転の仕方の構築、交通心理学的アドバイスの仕方、目標設定などを実習する</li> </ul>	<p>座学：1時間</p> <p>15：00～16：00</p>
<p>第4日目：H25.11.23（土）</p> <p>9. 指導及び助言の実習1</p> <p><b>国交省研修#5に該当</b></p>	<p>○ 基本的なかかわり技法の実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な傾聴の技法を用いて、リスニングの訓練を実施。</li> <li>場面構成や簡単受容、事柄への応答、感情への応答など</li> </ul>	<p>実習：6時間</p> <p>10：00～17：00</p>

<p>第5日目：H25.11.24（日） 9．指導及び助言の実習2 <b>国交省研修#5に該当</b></p>	<p>① 基本的なかかわり技法の実習 ・基本的な傾聴の技術を踏まえて、リスニングの訓練を実施。 質問の仕方、要約などを実習する</p> <p>② 自宅学習 ・基本的なかかわり技法の訓練を職場で訓練する。 ・音声記録・逐語記録の作成</p>	<p>実習：6時間 9：00～16：00</p> <p>実習：各自の勤務先で事例を積む</p>
<p>第6日目：H25.12.21（土） 10．模擬指導・助言をもとにした事例検討会1 <b>国交省研修#6に該当</b></p>	<p>① 事例検討会の実施 ・自宅学習にて実施した内容に基づいて指導する。</p>	<p>実習：6時間 10：00～17：00</p>
<p>第7回目：H25.12.22（日） 11．指導及び助言の実習2 <b>国交省研修#5に該当</b></p>	<p>① 基本的なかかわり技法の訓練 ・基本的な傾聴の技法を用いて、リスニングの訓練を実施する。 要約や質問の仕方などについて訓練する。</p> <p>② 自宅学習 ・基本的なかかわり技法の訓練を職場で訓練する。 (合計15事例の実習)</p>	<p>実習：6時間 09：00～16：00</p> <p>実習：各自の勤務先で残りの事例を積む</p>
<p>国土交通省認定第一種カウンセラー資格要件研修のカリキュラムは、ここで一部を残して（#5の15事例）終了となります。これ以降、自宅学習にて「指導・助言の実習（#5）」の15事例を実施した後、日本交通心理学会と提携している適性診断認定機関（当日指示致します）に提出してください。「#5の15事例」と「全過程の出席」を確認でき次第、順次「第一種カウンセラー資格要件研修修了証」を発行いたします。</p>		

なお、以上のカリキュラムは、研修の進行具合により一部変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

参考：国土交通省 第一種カウンセラー研修（別表第三 第六条関係）

研修項目	内容	時間
(#1) 適性診断一般に関する事項	適性診断の趣旨、内容等に関するもの	1 時間
(#2) 交通心理学に関する事項	交通心理学による交通事故の要因分析、安全対策等に関するもの	4 時間
(#3) カウンセリングの理論に関する事項	カウンセリングの定義、カウンセリングの特質、カウンセリング理論、小集団活動等に関するもの	2 時間
(#4) 指導及び助言の手法に関する事項	適性診断テストごとの指導及び助言の要点に関するもの	2 時間
(#5) 指導及び助言の実習	指導及び助言の実習を行うことにより指導及び助言を行う能力を習得するもの	1 5 事例
(#6) 模擬指導・助言をもとにした事例検討会	研修員が行った模擬指導・助言に係る面接の記録をもとに、受診者の心理を理解する方法、面接の実施方法等を習得するものであって、参加する研修員が十二人以下であるもの	研修員 1 人 1 事例以上で、合計 3 事例以上

#6の事例検討会は、研修員（第一種カウンセラーの資格がなく、これから取得しようとする研修参加者）一人1事例以上で、3名以上12名以下で実施すること。